

**世界最小・最軽量のネイティブ 4K プロジェクター “4K6020Z” など  
4K ラインアップを大幅に拡充する 3 機種発売**

キヤノンは、「パワープロジェクター」シリーズの新製品として、ネイティブ 4K 解像度（4096×2160 画素）の LCOS<sup>\*1</sup> パネルを搭載した世界最小・最軽量<sup>\*2</sup> のレンズ交換式モデル 2 機種 “4K6020Z/4K5020Z” と 4K 専用交換レンズ “RS-SL07RST”、普及型プロジェクターの 4K UHD モデル “LX-MH502Z” を 2018 年 12 月上旬より順次発売します。



**4K6020Z**  
\*RS-SL07RST 装着時



**LX-MH502Z**

ネイティブ 4K 解像度の LCOS パネルを搭載した世界最小・最軽量のレンズ交換式レーザー光源プロジェクター “4K6020Z/4K5020Z” は、企業内のデザインレビューや美術館・博物館、医用画像の投写<sup>\*3</sup> など高精細な表現力や高い色再現性を求められるシーンに、4K UHD 解像度（3840×2160 画素）の普及型レーザー光源プロジェクター “LX-MH502Z” は、Ultra HD Blu-ray など身近な 4K コンテンツの投写に活用できます。キヤノンはレンズ一体型 4K プロジェクター、超高輝度 4K プロジェクターに続き、今回の 3 機種を追加することで 4K ラインアップを大幅に拡充し 4K プロジェクター市場の拡大を牽引します。

**■ ネイティブ 4K 解像度で世界最小・最軽量 “4K6020Z/4K5020Z”**

“4K6020Z” は 6000lm、“4K5020Z” は 5000lm の高輝度で、ネイティブ 4K の LCOS パネルを採用していることから、ドットバイドット<sup>\*4</sup> の高精細な映像投写が可能です。キヤノン独自のキーパーツの小型化技術を集結した WUXGA（1920×1200 画素）解像度の「WUX7000Z」（2018 年 7 月発売）との共通プラットフォーム設計により、大きさ約 480（幅）×175（高さ）×545（奥行）mm、質量約 19kg と世界最小・最軽量を実現しました<sup>\*5</sup>。筐体デザインだけでなく、交換レンズも共通化することで、今回発売の 4K 専用の高画質ズームレンズ “RS-SL07RST”（別売り）を加えた 7 本の交換レンズが使用でき、ネイティブ 4K でありながら幅広い投写領域をカバーできます。

**■ 4K UHD 解像度の投写が可能な普及型 “LX-MH502Z”**

1 チップ DLP<sup>®</sup>\*6 方式の小型・軽量の普及型で、4K UHD 解像度の投写が可能です。上下最大 ±60%、左右最大 ±23% のレンズシフト、1.6 倍ズーム搭載で、自由度の高い設置ができます。

製品名	希望小売価格	発売日
4K6020Z	オープン価格	2018 年 12 月中旬
4K5020Z		
RS-SL07RST		
LX-MH502Z		2018 年 12 月上旬

※1 Liquid Crystal On Silicon の略。反射型液晶パネル。

※2 レーザー光源を搭載したネイティブ 4K 解像度 6000lm/5000lm クラスのプロジェクターのサイズ、質量において。サイズは突起物含まず。質量はレンズ含まず。2018 年 11 月 8 日現在。（キヤノン調べ）

※3 本プロジェクターは、医療診断用機器ではないため、読影や診断には使用できません。

※4 映像情報の 1 ピクセルを、プロジェクターの 1 ドットに、拡大縮小をせずにそのまま投写すること。

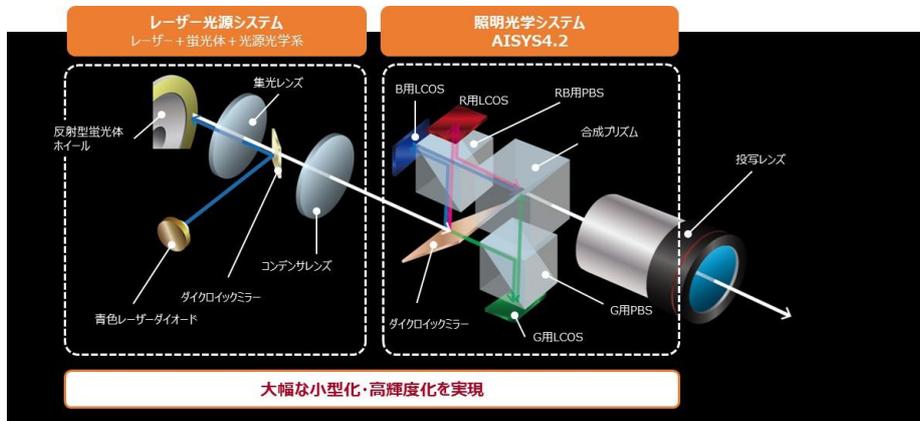
※5 突起物を含む場合は、約 480（幅）×196（高さ）×545（奥行）mm。質量はレンズ含まず。

※6 Digital Light Processing の略。デジタルミラーデバイスを用いた映像表示システム。DLP<sup>®</sup>は、テキサス・インスツルメンツ社の登録商標です。

## <4K6020Z/4K5020Z の主な特長>

### 1. ネイティブ 4K 解像度で世界最小・最軽量

- ・“4K6020Z”は6000lm、“4K5020Z”は5000lmで、明るい映像投写が可能。
- ・ネイティブ 4K (4096×2160 画素) の LCOS パネルを採用し、映像情報の 1 ピクセルをプロジェクターの 1 ドットに拡大縮小せずにドットバイドットで忠実に再現できるため、高精細で臨場感のある投写が可能。
- ・青色レーザーダイオードと反射型蛍光体ホイールで白色光を効率よく生成できるレーザー光源システムなど、キヤノン独自のキーパーツの小型化技術により、ネイティブ 4K レーザー光源プロジェクターの 6000lm/5000lm クラスでは世界最小サイズの約 480mm (幅) ×175mm (高さ) ×545mm (奥行)、世界最軽量の約 19kg を実現。
- ・レーザー光源システムと照明光学システム AISYS (エイシス) 4.2 で構成されるキヤノン独自の光学システムにより小型化と高輝度を両立。



光学システムイメージ図

- ・WUXGA (1920×1200 画素) 解像度のモデル「WUX7000Z」(2018年7月発売) と共通のプラットフォーム設計により、筐体デザインと交換レンズを共通化。



共通プラットフォームイメージ図

## 2. 4K 専用“RS-SL07RST”など7本の交換レンズによる幅広い投写領域

- ・レンズ交換式 4K プロジェクター用の高画質ズームレンズ“RS-SL07RST”を新開発。イメージング技術の粋を集めた製品群を象徴する「レッドライン」を施したデザイン。精細な曲面投写を実現する「周辺フォーカス調整機能」を搭載。プラネタリウムなどのドーム型スクリーンへも、最周辺まで高解像の美しい投写が可能。
- ・WUXGA（1920×1200 画素）解像度のモデル「WUX7000Z」（2018年7月発売）と同時に発売した超短焦点から超望遠まで幅広い投写領域の交換レンズ（別売り）も使用可能。今回発売する4K専用の高画質ズームレンズ“RS-SL07RST”を追加し、ネイティブ4Kプロジェクターでありながら7本の交換レンズを用意し、設置環境に合わせ幅広い投写領域をカバー。



## 3. 独自のダイナミックコントラスト機能

- ・明るいシーン、暗いシーンの変化に応じて、自動的に光量、アイリス、画像処理を組み合わせることでコントラスト比を調整。暗いシーンの黒を効果的に沈め、明るいシーンではより白を鮮明に表現し、没入感や臨場感のある投写を実現。

## 4. HLG（Hybrid Log Gamma）にも対応したHDR\*機能

- ・映像の明部と暗部の輝度差を拡大するHDR調整機能を搭載。白とびを抑え、肉眼で見る映像に近い階調表現が可能。
- ・従来より対応していたUltra HD Blu-rayに採用されている米国映画テレビ技術者協会のHDR規格SMPTE2084 PQ（Perceptual Quantization）方式に加え、放送局で採用されている一般社団法人電波産業会のHDR規格ARIB STD-B67 HLG（Hybrid Log Gamma）方式に新たに対応。

\* 「High Dynamic Range」の略。映像の明部と暗部の輝度差（ダイナミックレンジ）を向上させる技術。

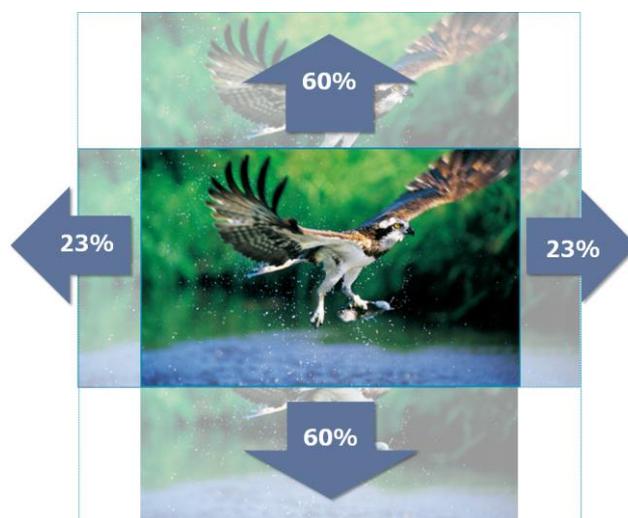
## <“LX-MH502Z”の主な特長>

### 1. 4K UHD 解像度の投写が可能な普及型

- ・1チップDLP方式の普及型でありながら、4K UHD（3840×2160画素）解像度の投写が可能。
- ・レーザー光源による5000lmの明るさと、50000:1の高コントラストを実現。
- ・最大300型の大画面投写を実現。

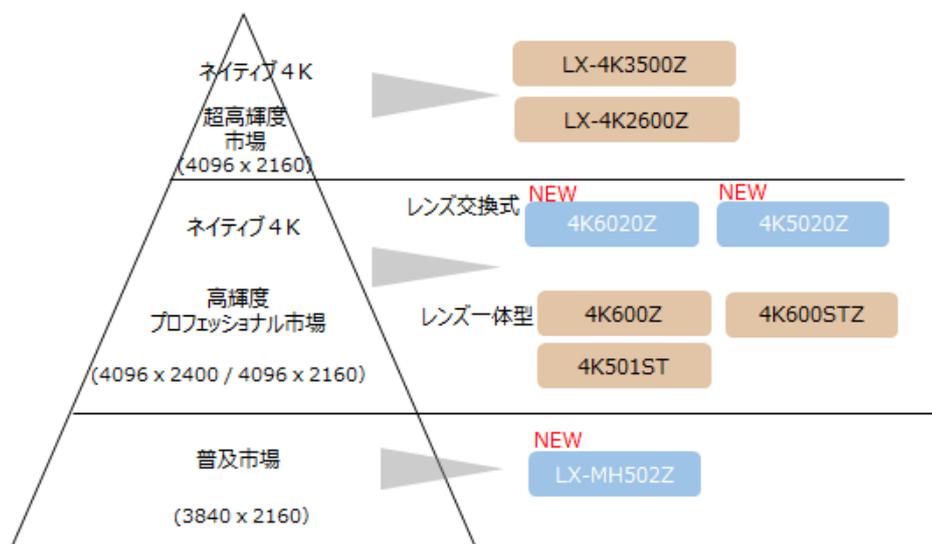
### 2. 小型・軽量ボディで自由度の高い設置性

- ・本体質量が約9.3kgで、天井などの高い場所への設置作業の負担を軽減。
- ・上下最大±60%、左右最大±23%のレンズシフトが可能で、画質を維持しつつ設置場所を選択可能。
- ・1.6倍ズーム搭載で、自由度の高い設置を実現。



レンズシフトイメージ図

## <キャノン 4K プロジェクターラインアップ>



### **<プロジェクターの市場動向>**

2017年のビジネスプロジェクターの市場規模は、世界市場で約644万台、国内市場で約23万台でした。2020年は、世界市場で約655万台、国内市場で約24万台と予測しています。この中における4Kビジネスプロジェクターの市場は、映像の高画質化に伴い、2017年から2020年までの国内市場での出荷台数年平均成長率は約340%の見通しであり、急成長が見込まれています。(キヤノン調べ)

### **<ご参考>**

2018年11月14日(水)～16日(金)に幕張メッセ(千葉市)で開催される、「国際放送機器展(Inter BEE)」のキヤノンブースにおいて、“4K6020Z”を展示予定です。

<4K6020Z/4K5020Z の主な製品仕様>

製品名		4K6020Z	4K5020Z
表示方式		反射型液晶パネル (LCOS) × 3 枚	
表示素子	有効表示域サイズ	0.74 型/約 17 : 9	
	有効画素数	8,847,360 (4096 × 2160)	
投写レンズ		7 種類 (別売)	
光源		青色レーザーダイオード + 黄色蛍光体	
画面サイズおよび投写距離*1		最小 : 101.6cm (40型) ~最大 : 1524cm (600型) 距離 : 1.2m ~ 31.7m	
色数		10 億 7,300 万色	
光出力*2*3		6000lm	5000lm
コントラスト比*2*4		22,000 : 1	20,000 : 1
周辺照度比*1*3		80% 以上	
表示解像度	コンピューター信号入力	最大入力解像度 4096×2160 ドット	
	ビデオ信号入力	最大入力解像度 4096×2160 ドット	
映像信号	デジタル映像入力	640×480/720×480/720×576/800×600/ 1280×720/1024×768/1366×768/1440×900/ 1280×1024/1920×1080/2048×1080/ 2560×1080/1920×1200/2048×1200/ 2560×1440/2560×1600/ 3840×2160/4096×2160	
映像信号 入力端子	HDMI × 2	デジタル PC、デジタルビデオ	
	RJ-45	HDBaseT 入力 (映像、音声、制御、ネットワーク)	
その他 入出力端子	ミニジャック × 3	トリガーアウト、音声出力、ワイヤードリモコン	
	RS-232C	CONTROL (Dsub9)	
	USB	USB Type A	
騒音 (光源モード) 標準 / 静音 1 / 静音 2		38 / 33 / 29dB	37 / 32 / 29dB
使用温度		0 °C ~ 45 °C	
電源		AC100V ~ 240V 50/60Hz	
最大消費電力		620W	550W
待機電力		0.25 ~ 1.6 W	
大きさ・質量	標準外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約幅480×高さ196×奥行545mm 約幅480×高さ175×奥行545mm (突起部含まず)	
	質量	約 19kg (投写レンズ含まず)	
無線 LAN	周波数帯域	2.4GHz	

※1 4K標準ズームレンズ“RS-SL07RST”使用時。

※2 出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2015データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書Bに基づいています。

※3 4K標準ズームレンズ“RS-SL07RST”使用時、イメージモードが [プレゼンテーション]、MBリダクションが [切]、光源モードが [標準] の場合。また、プロジェクター保護のため、使用環境温度の上昇に応じて、プロジェクターの光出力が低下することがあります。

※4 4K標準ズームレンズ“RS-SL07RST”使用時、イメージモードが [プレゼンテーション]、MBリダクションが [切]、光源モードが [標準]、ダイナミックコントラストが [強] の場合。

<RS-SL07RST の主な製品仕様>

製品名	RS-SL07RST
ズーム	1.76 倍 (電動)
レンズシフト <sup>※1</sup>	V:±73% (電動) H:±11% (電動)
焦点距離	22.7~39.8 mm
F 値	2.1~2.4
投写距離	1.20~31.71m
投写比 <sup>※2</sup>	1.34~2.35:1
質量	約 1.9 kg

※1 レンズシフトモードが標準の場合。

※2 100 型で投写する場合の計算値。

<LX-MH502Z の主な製品仕様>

表示方式	1チップDLP®	
表示素子	有効表示域サイズ	0.47 型×1/16:9
	有効画素数	2,073,600 (1920 × 1080)
	解像度 (4K シフトオン/オフ)	8,294,400 (3840×2160) / 2,073,600 (1920×1080)
投写レンズ	ズーム	1.6 倍
	フォーカス	手動
	レンズシフト	V:±60% (手動) H: ±23% (手動)
	焦点距離	14.3 mm ~ 22.9 mm
	F 値	1.81 ~ 2.1
光源	青色レーザーダイオード + 黄色蛍光体	
画面サイズおよび投写距離	ワイド: 60 型 ~ 300 型 (1.80 m ~ 8.98 m) テレ: 60 型 ~ 200 型 (2.87 m ~ 9.58 m)	
色数	10 億 7,300 万色	
光出力 <sup>※</sup>	5000lm	
コントラスト比 <sup>※</sup>	50000:1	
周辺照度比 <sup>※</sup>	80%	
スピーカー	10W・モノラル×1	
表示解像度	最大入力解像度 3840×2160 ドット	
映像信号	アナログ PC 入力	WUXGA / WSXGA+ / UXGA/SXGA+ / WXGA+ / FWXGA / WXGA / SXGA / XGA / SVGA / VGA / MAC
	HDMI 入力	コンピューターと接続時: 3840 x 2160/WUXGA / WSXGA+ / UXGA / SXGA+ / WXGA+ / FWXGA / WXGA / SXGA / XGA / SVGA / VGA AV 機器と接続時: 2160p / 1080p / 1080i / 720p / 576p / 576i / 480p / 480i

<b>接続端子</b>	<b>ミニ Dsub15×2</b>	アナログ PC 入力／アナログ PC 出力
	<b>HDMI×2</b>	デジタル PC／デジタルビデオ入力
	<b>ミニジャック×2</b>	音声入力×1、音声出力×1
	<b>Dsub9</b>	RS-232C
	<b>RJ-45×2</b>	ネットワーク接続（100BASE-TX／10BASE-T）／ HDBaseT 入力
	<b>USB mini B</b>	サービスポート
	<b>USB type A</b>	電源供給
<b>騒音（光源モード）ノーマル／エコ</b>		39／37dB（光源モード ノーマル／エコ）4K シフト オン 37／35dB（光源モード ノーマル／エコ）4K シフト オフ
<b>使用温度</b>		0℃～40℃
<b>電源</b>		AC100V 50／60Hz
<b>最大消費電力</b>		550 W（ノーマル）、400 W（エコ）
<b>待機電力</b>		0.4～1.5 W
<b>大きさ・質量</b>	<b>標準外形寸法 （幅×高さ×奥行き）</b>	約幅450×高さ154×奥行379 mm 約幅 450×高さ 125×奥行 379 mm（突起部含まず）
	<b>質量</b>	約 9.3kg

※ 出荷時における本プロジェクターの値を示しており、JIS X 6911: 2015データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書Bに基づいています。

- \* プロジェクター保護のため、使用環境温度の上昇に応じて、プロジェクターの光出力が低下することがあります。
- \* 長時間・連続使用の際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。
- \* 本機は JIS C 61000-3-2 適合品です。
- \* 製品の仕様及び外観の一部を予告なく変更することがあります。

2018年11月8日  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

## 新製品の参考価格のご案内

本日発表した新製品の参考価格をご案内いたします。

### < パワープロジェクター 本体 >

製品名	価格	参考価格※	発売日
4K6020Z	オープン価格	3,180,000 円	2018年12月中旬
4K5020Z		2,980,000 円	2018年12月中旬
LX-MH502Z		598,000 円	2018年12月上旬

### < プロジェクター用交換レンズ >

製品名	価格	参考価格※	発売日
RS-SL07RST	オープン価格	498,000 円	2018年12月中旬

※上記参考価格は市場想定価格であり、各販売店での価格を拘束するものではありません。  
各販売店での価格は各店にお問い合わせください。